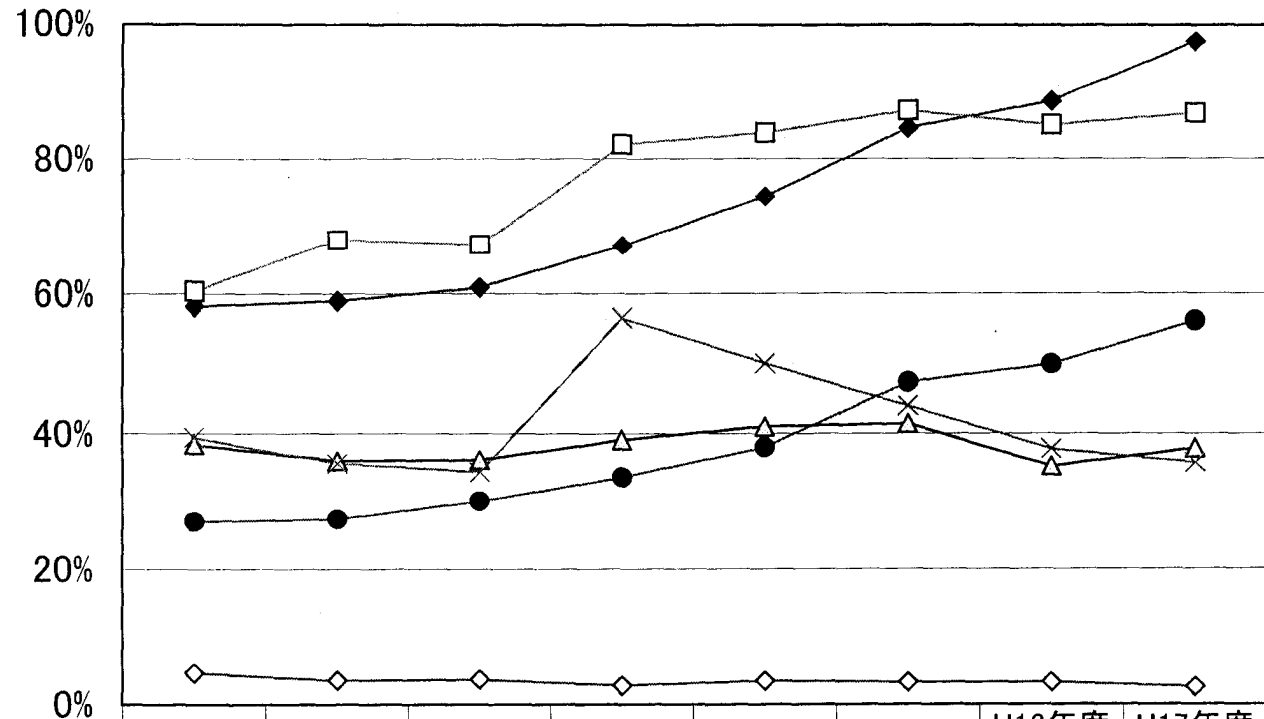


## 統計資料

主な血漿分画製剤の自給率の推移 .....	1
アルブミン製剤の供給量と自給率の推移 .....	2
免疫グロブリン製剤の供給量と自給率の推移 .....	3
血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量と自給率の推移 .....	4
アルブミン製剤の製造量等の推移 (H15年7月～H16年9月) .....	5
免疫グロブリン製剤の製造量等の推移 (H15年7月～H16年9月) .....	6
血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移 (H15年7月～H16年9月) ..	7
血液製剤の製造 (輸入) 実績報告集計表 (平成15年度分) .....	8
” (平成16年度4～9月分) .....	9
” (H15年4月～H16年9月・月別) .....	10

主な血漿分画製剤の自給率の推移 (供給量ベース)



	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度 (見込)	H17年度 (見込)
◆ 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	58.28%	58.97%	60.86%	67.02%	74.48%	84.46%	88.23%	97.52%
□ 人免疫グロブリン	60.37%	67.89%	67.14%	82.13%	83.76%	86.93%	84.83%	86.50%
△ 組織接着剤	38.47%	36.06%	36.18%	39.16%	41.05%	41.52%	35.25%	37.98%
× 血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	39.52%	35.67%	34.41%	56.67%	50.18%	44.13%	37.88%	35.82%
● アルブミン	27.07%	27.43%	30.09%	33.63%	38.06%	47.53%	50.11%	56.23%
◇ 抗HBs人免疫グロブリン	4.57%	3.46%	3.59%	2.76%	3.35%	3.19%	3.18%	2.49%

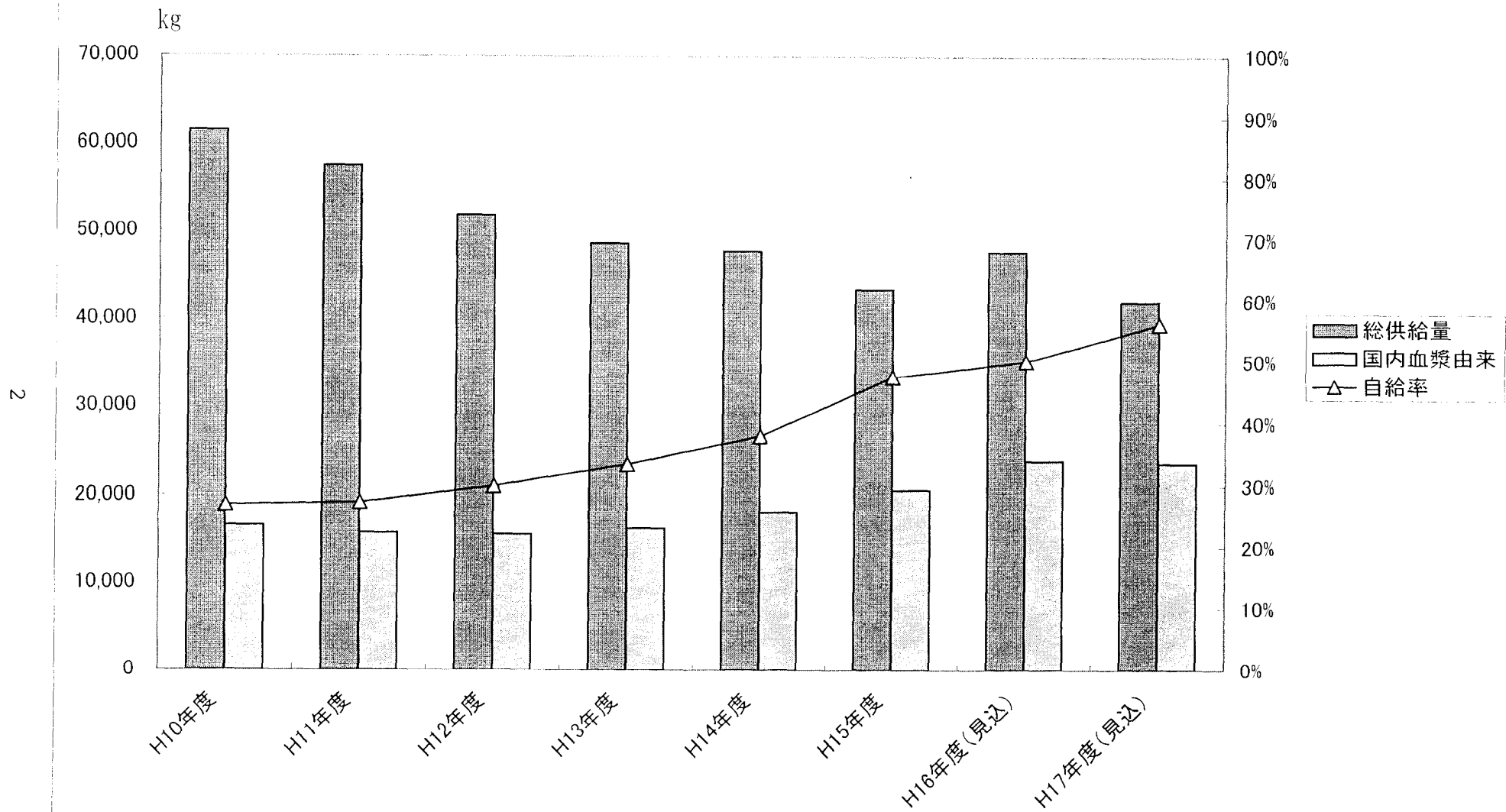
自給率100%のもの

乾燥人フィブリノゲン、血液凝固第Ⅷ因子(血液由来に限る)、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)、トロンピン、乾燥濃縮人活性化プロテインC

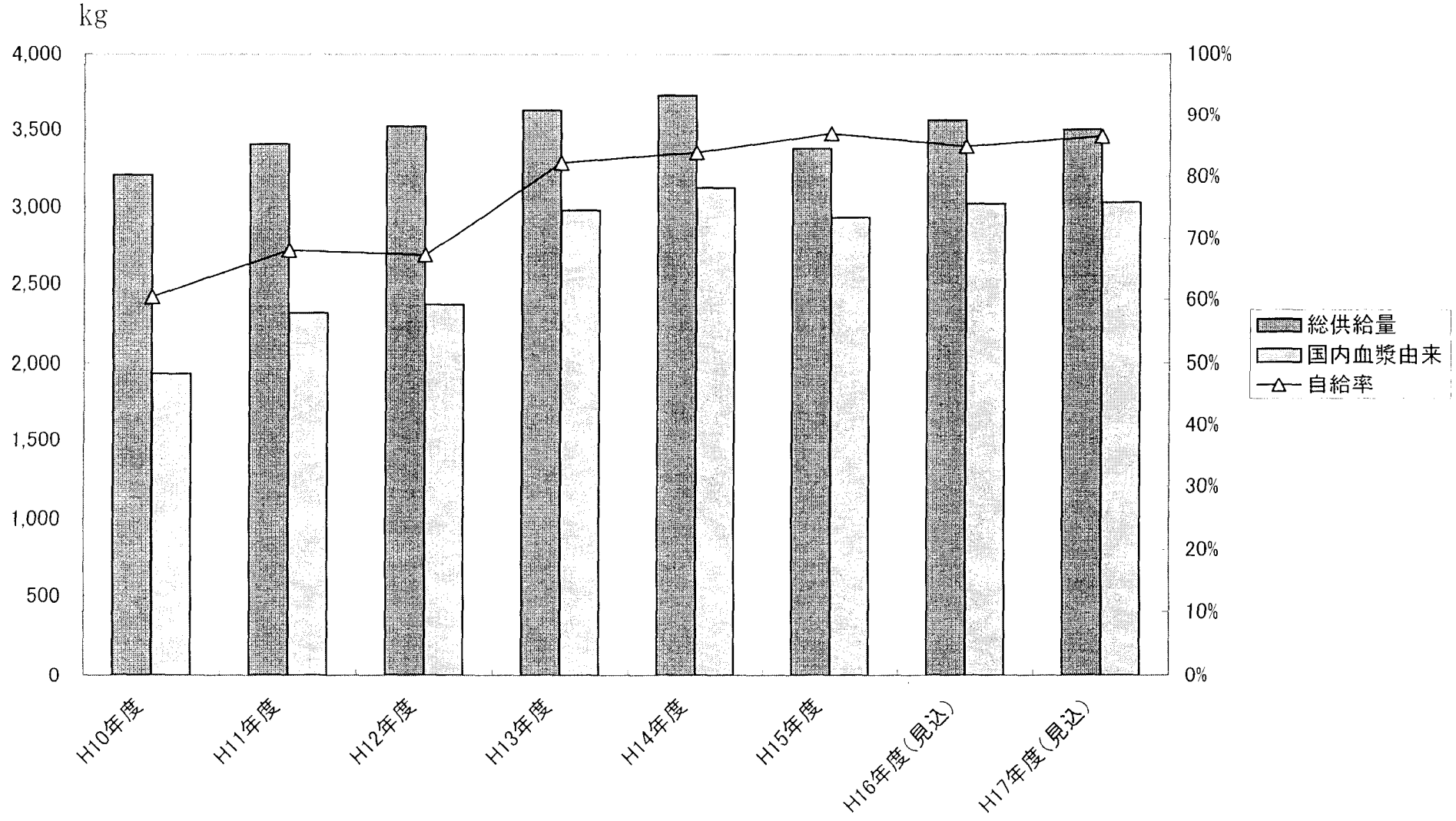
自給率0%のもの

インヒター製剤、乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子、乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン、人ハプトグロビン、乾燥濃縮人CI-インアクチベーター

# アルブミン製剤の供給量と自給率

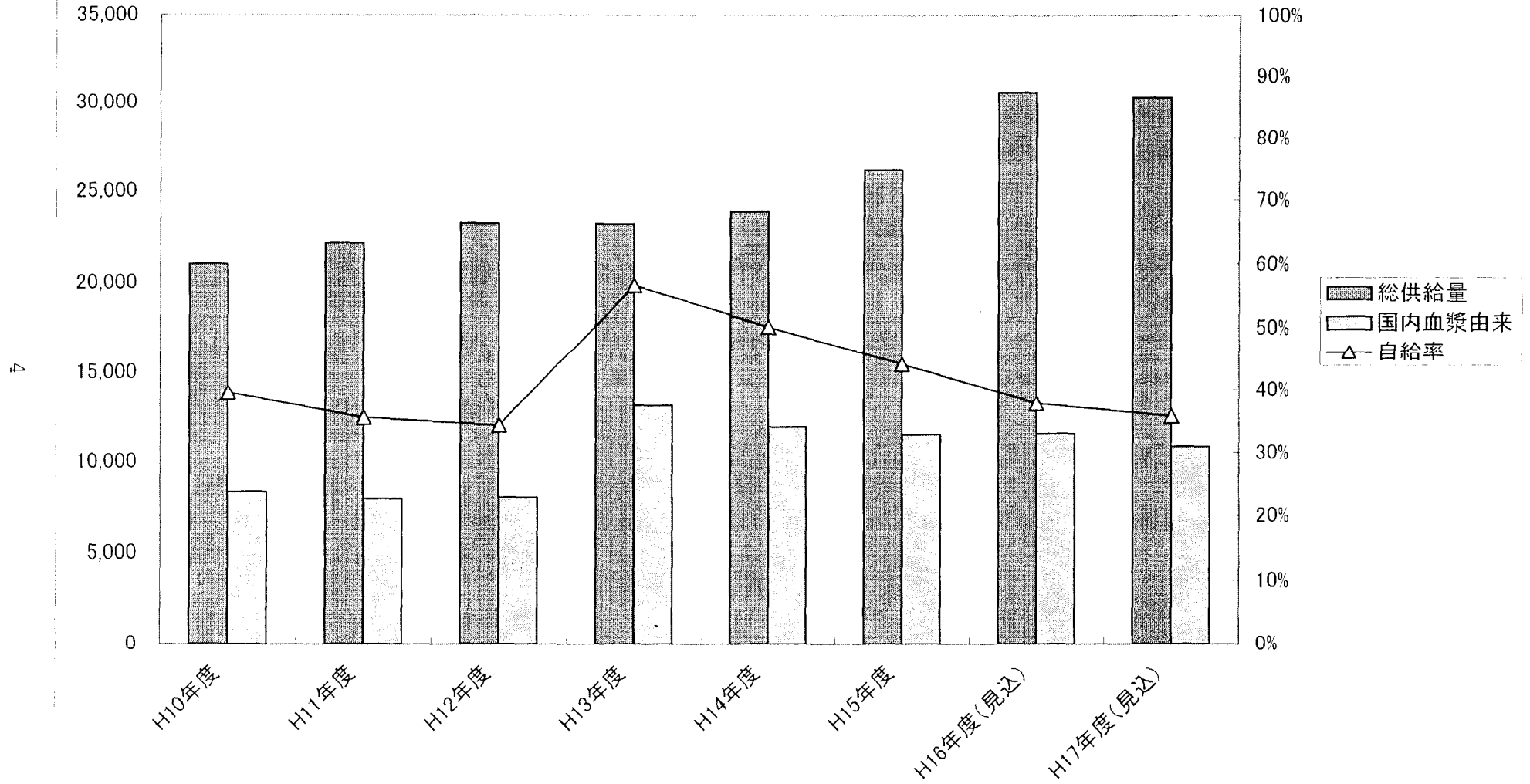


免疫グロブリン製剤の供給量と自給率



### 血液凝固第八因子製剤の供給量と自給率 (遺伝子組換え型含む)

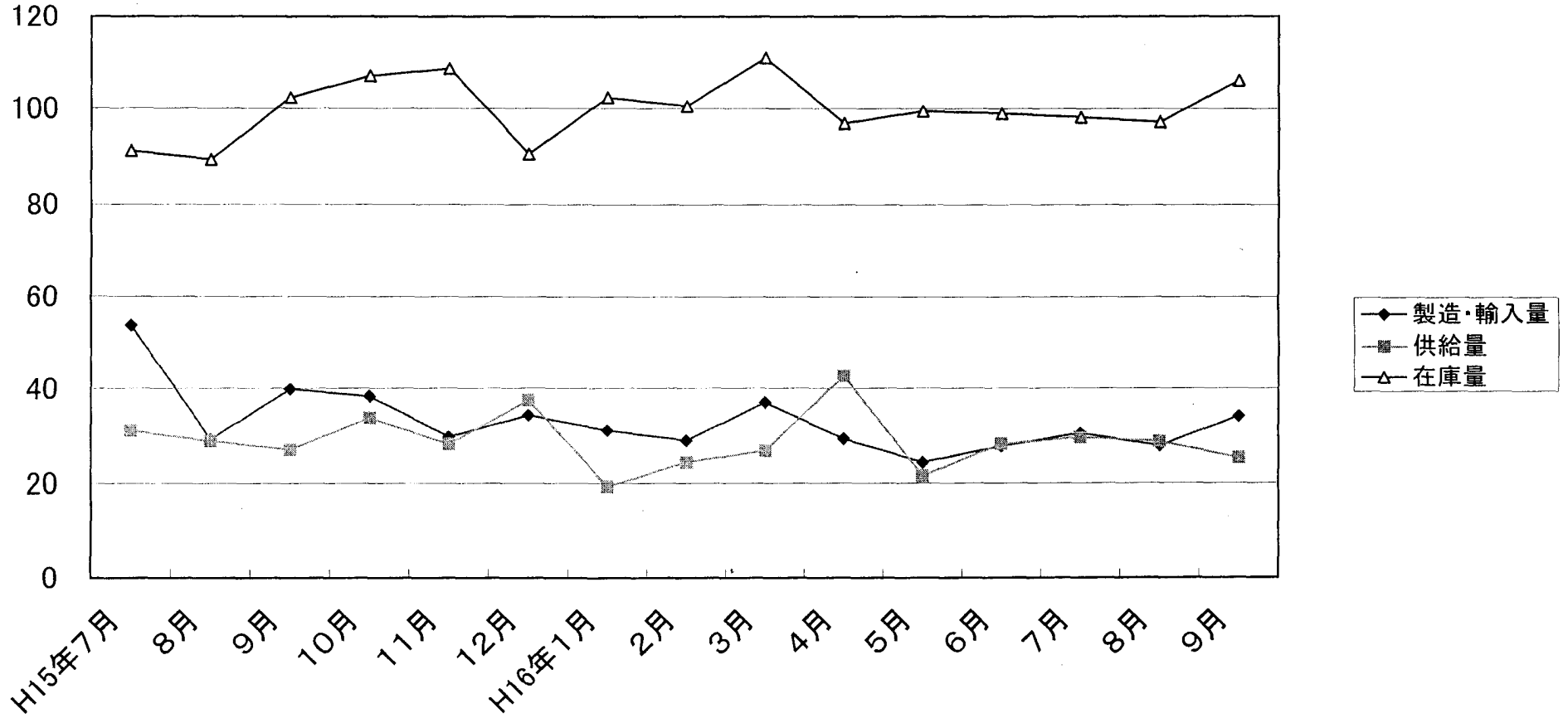
万単位



# アルブミン製剤の製造量等の推移

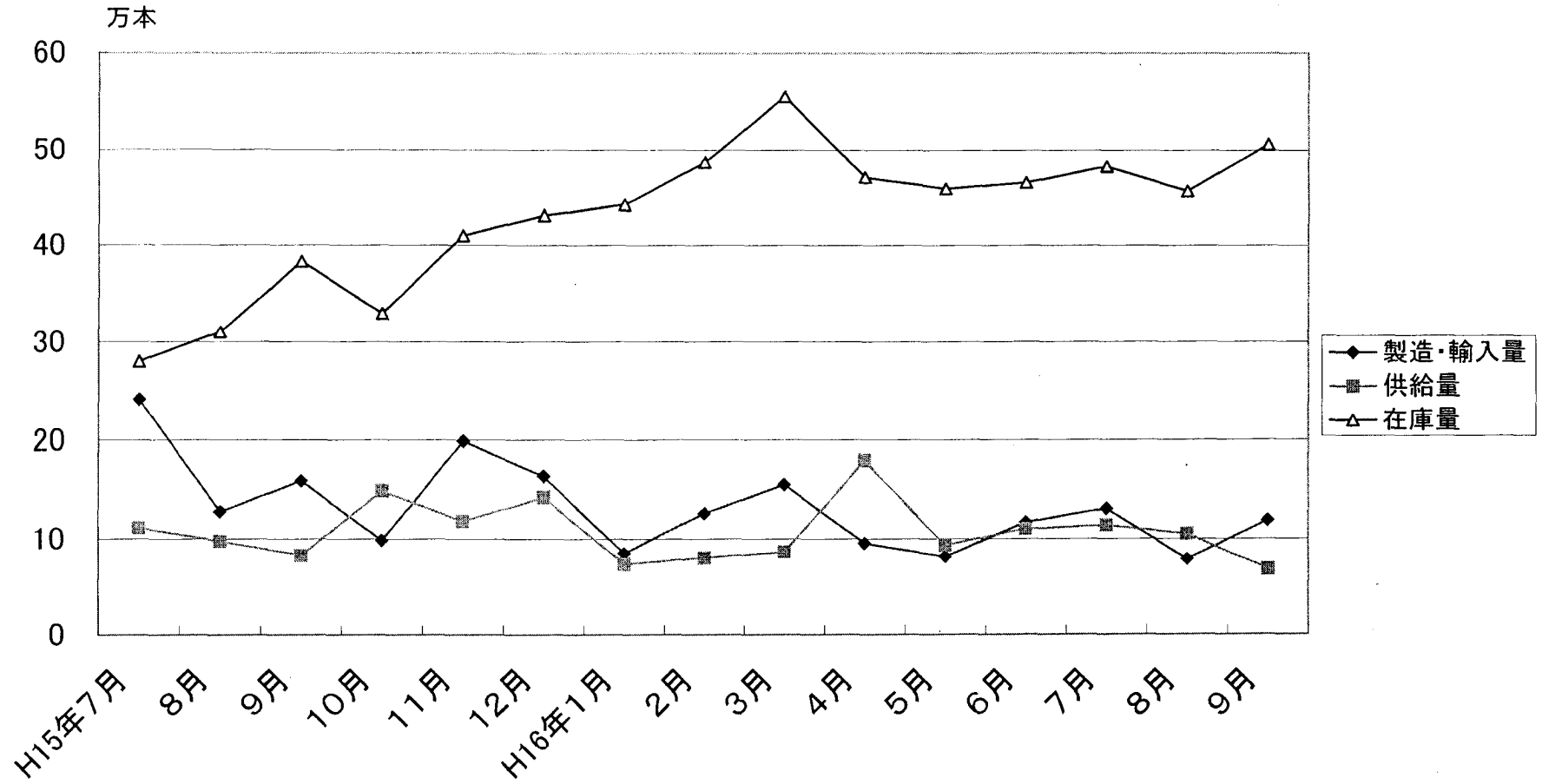
万本

5



注：数量は25%50mlの製品に換算したものである。

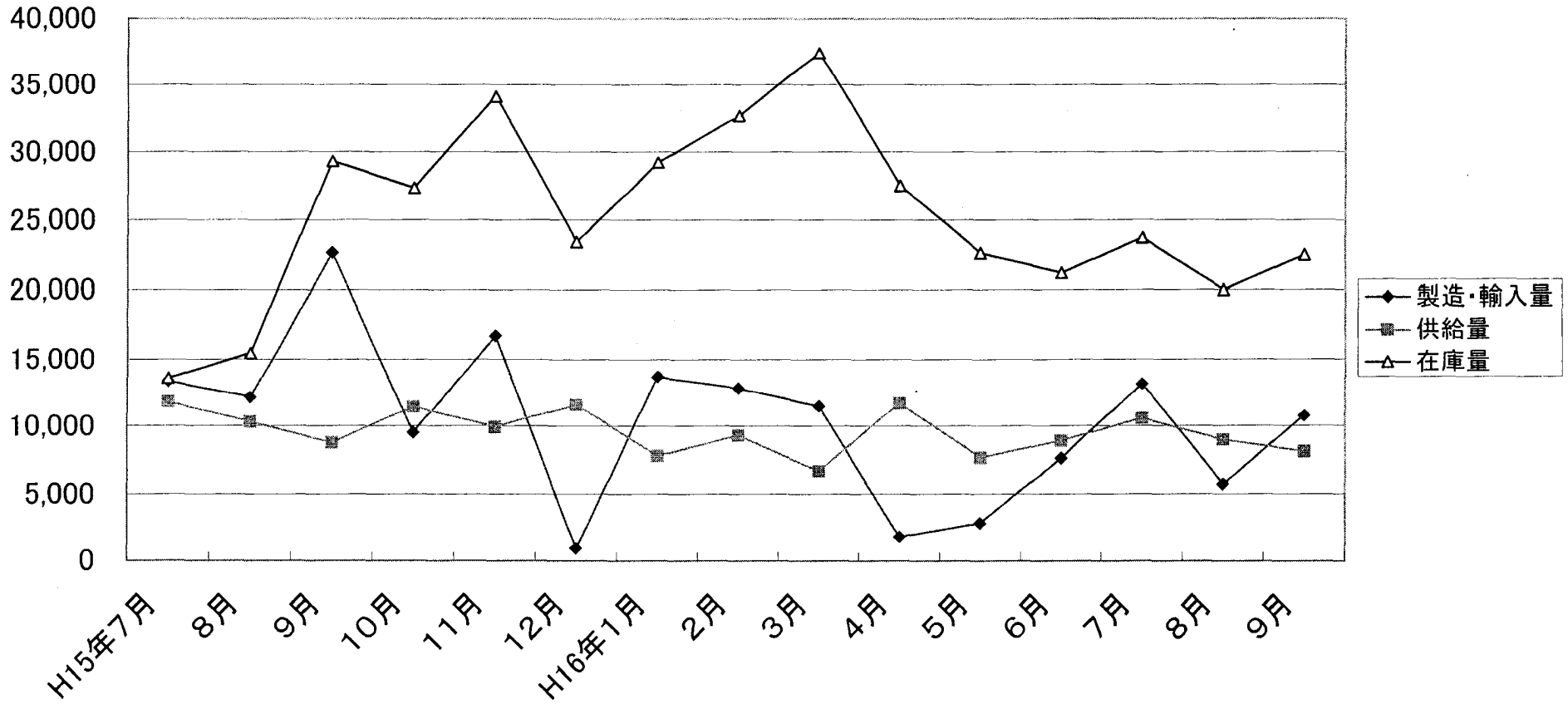
# 免疫グロブリン製剤の製造量等の推移



注:数量は2.5gの製品に換算したものである。

# 血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移

本



注:数量は、1000単位の製品に換算したものである。



血液製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成15年度分)

製剤名	換算規格・単位	前年度末における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)	製造・輸入計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量(本)	本年度末における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	855,900	3,959,700	1,988,500	3,471,400	1,108,000
乾燥人フィブリノゲン	1g	400	2,300	2,300	2,300	400
組織接着剤	接着面積(cm <sup>2</sup> )	2,828,900	8,779,500	3,758,800	9,483,000	2,108,600
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	45,700	285,400	132,400	261,400	69,400
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	11,200	24,200	24,200	31,000	4,000
インヒビター製剤	延べ人数(人)	2,000	10,600	0	10,000	2,600
乾燥濃縮血液凝固第ⅤⅢ因子	(瓶)	63,900	183,600	0	164,200	83,400
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	42,200	127,500	127,500	76,100	92,500
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	314,900	1,602,100	1,403,600	1,351,500	555,600
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	12,400	16,900	600	19,000	9,900
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	2,100	10,300	0	8,900	3,400
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	76,900	76,900	0	102,200	50,400
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	91,500	355,200	310,000	344,100	100,900
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	1,470	0	0	280	370
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	6,800	56,400	0	43,700	19,400
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	130	570	0	480	220

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

血液製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成16年度4~9月分)

製剤名	換算規格・単位	前年度末における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量(本)	9月末における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	1,108,000	1,735,800	911,200	1,759,400	1,059,900
乾燥人フィブリノゲン	1g	400	4,000	4,000	1,100	2,200
組織接着剤	接着面積(cm <sup>2</sup> )	2,108,600	5,954,700	2,036,300	5,020,200	3,038,300
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	69,400	133,700	42,000	142,300	59,900
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	4,000	23,600	23,600	18,700	8,900
インヒーター製剤	延べ人数(人)	2,600	7,500	0	6,200	3,900
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	83,400	72,800	0	79,900	76,200
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	92,500	0	0	23,300	67,900
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	555,600	625,100	547,500	673,000	506,500
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	9,900	9,700	0	10,900	8,600
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	3,400	4,100	0	4,600	2,800
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	50,400	74,300	0	56,500	68,000
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	100,900	165,800	152,000	192,400	73,700
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	370	380	380	240	80
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	19,400	22,000	0	22,100	19,300
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	220	230	0	160	300

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒーター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。